

令和6年度第2回プラネタリウム館運営協議会会議録（概要）

1. 開催日時 令和7年1月22日(水)午後3時30分から4時30分まで
2. 開催場所 文化センター2階かおりホール（中ホール）
3. 出席者 中里会長、根本委員、野崎委員、橋本委員、
事務局：高花センター長、岸下主査、西口主任主事
4. 欠席者 駒井委員、上田委員
5. 傍聴者 0名
6. 議題
 - 1 令和6年度の事業実施状況について（公 開）
 - 2 令和7年度事業計画(案)について（公 開）
 - 3 その他（公 開）

7. 配布資料

資料① 令和7(2025)年度事業計画(案)

資料② 令和7(2025)プラネタリウム日程(案)

資料③ 令和6(2024)プラネタリウム来館者集計(12月末)

8. 会議での確認・承認事項

①令和6年度事業経過の確認

②令和7年度事業計画の確認

9. 議 事 以下のとおり

事務局

議題1 令和6(2024)年度の事業実施状況について

事務局より、主に前回の会議10月以降の事業結果について報告する

事務局

30周年記念事業について。

「30天体ゲットしよう」の達成者は前期締め切り分は1名だった。後期の締め切りは2月末。

「みんなで作る星座たち」は、約200点近く集まり、現在3階ギャラリーに展示をしている。来年はそこからピックアップしてドームに映す予定である。

11月の「アクアマリン トーク&ライブコンサート」は69名が来館した。

令和6年度の来館者数と歳入について

参考 資料③「令和6(2024)プラネタリウム来館者集計(12月末)」

12月までの来館者数と歳入を、昨年度と比較すると、ほぼ同じであった

内訳を見ると、一般投映来館者数が200人程減。これは、30周年記念事業として「プラネタリウムで謎解き 30年前の星空からの脱出」を行ったために、一般投映回数が17回少なくなったためと思われる。

	団体投映は、100 人程増。高齢者のデイケアセンターや放課後デイサービス等の来館が増えている。 幼稚園・保育園は、隣接の印西市の子ども数が増えているためか、全体的に増。小学校は、全体的に減。 星見会は 200 人程増。これは、昨年行っていた予約制・定員 30 人をやめたためと、特別観望会「土星食を見る会」を行ったため。 「あなただけのプラネタリウム」は昨年の 50 人から 25 人に減。番組準備の時間にゆとりがないため、積極的に宣伝をしていないところが影響している。 新規事業の「プラネタリウムで謎解き」は、250 人程の参加者があり。歳入も増えている。
●●	ありがとうございます。意見ある方お願いします。
●●	市外はどこから来る方が多いか。
事務局	学校では主に印西市からが多く、柏市、成田市、鎌ヶ谷市、松戸市からも来館する。一般はしっかりと集計を取っていない。
●●	「にんさんぷラネタリウム」の人数はどうか。
事務局	相変わらず少ない。来年度は投映回数を1回減らす予定。(5回→4回)
●●	他にあるか。では次の議題をお願いします。
	議案 2 令和 7(2025)年度事業計画(案)の説明について 事務局より令和 7 年年度事業計画について説明する。 参考 資料② 令和 7(2025)プラネタリウム日程(案)
事務局	天文現象として「土星の輪の消失」、宇宙開発として「月」をテーマに企画した。一般投映番組を作成するのに大きな労力がかかるので、来年度は、館所有のオート番組を多く投映する。全生解説番組部分も 1 本は「星空散歩」とし、番組を作り込むというよりは、それぞれの投映者が話術を駆使して投映を進めるスタイルとする計画。「どなたでも学習投映」は、今年度は各番組 2 回ずつ(全 10 回)投映していたが、来年度は各 1 回(全 5 回)とした。 その他事業はほぼ今年度と同様に実施予定。 天文講演会は、会計年度職員が世界旅行の話と星空解説を行うことにした。 発行物「プラネタリウムだより」と「星を見よう」は作成者が変更となる。 発行回数、内容は検討中。

	料金変更について説明。 来年度4月から「にんさんぷラネタリウム」「あなただけのプラネタリウム」「星を見る会」「天文講演会」の料金を改定する。 現在様々な料金設定があるが、一般投映料金に合わせられるものを統一した。「にんさんぷラネタリウム」は、子育て世代を更に応援するため、母子手帳提示で母親と父親を無料とした。「あなただけのプラネタリウム」は投映およびその準備に見合う料金とし、また延長を望む来館者のニーズにも応えられるようにした。
●●	事業計画と、料金改定について意見はあるか。
●●	「プラネタリウムだより」「星を見よう」は、内容を減らしても毎月出すのが良い。
事務局	内容、発行回数は、検討する
●●	料金設定、良いと思う。 「どなたでも学習投映」は、実際体調不良でお休みした子が来ているのか。
事務局	来館者が実際の対象者4年生、6年生、中学生であることは少ないように見える。 欠席者が来館しているかは把握していない。
●●	学校で来館した児童・生徒は減免になっているので、欠席の子が来たら無料にならないか。
事務局	検討する。
●●	鎌ヶ谷市に住んでるが、印西市の小学校に勤めて、初めて白井市にプラネタリウムがあることを知った。 市外に住んでいる方が、どれだけ白井市にプラネタリウムがあることを知っているのか。目に触れる機会がないのか。せつくなので、近隣の市町村が知る機会があればいいのでは。
事務局	そのとおりである。何か良い案はあるか。
●●	子どもを通じて、保護者に伝わるのではないかと。現在、大事な書類はLINEを使っている。紙媒体以外でも大人の方が見られる何かがあればいいのではないかと。

事務局	前回の上田委員の提案を受け、「星を見よう」をシーフォースという教育委員会で使用している情報配信システムを使い、学校の先生に回覧してもらう様にした。 「プラネタリウムで謎解き」の情報は、印西市の広報紙にも掲載した。 鎌ケ谷市へのアピール方法はどうしたらよいか。学習投映に来館する学校以外へ、ピンポイントで依頼するのは難しい。(地域新聞や季刊誌ほくそう等での情報発信はされている)
●●	学校経由での情報発信は、鎌ケ谷市は、印西の教育委員会と管轄が違ってしまいうので、難しいのかもしれない。
●●	県内のプラネタリウム館の情報共有はあるか。
事務局	以前はあったが、他の館が委託や指定管理になってからは、ほぼない。チラシのやりとりぐらいである。
●●	もっとアピールしてもいいのではないか。
事務局	広報・情報発信については、毎回課題である。 シーフォースでの情報発信と共に、前回会議で橋本委員が提案したサークル向けのチラシは作成してみた。
●●	来年度事業について他に意見はないか。 では議題その他についてお願いします。
事務局	文化センターの大規模改修について説明 大規模修繕計画のプロポーザルが開始されたが、業者が辞退し契約が不調となった。再度募集を行い、令和7年度から策定を進めることとなった。
●●	機器の交換・メンテナンスを考えているとあるが、何があるのか
事務局	デジタル式プラネタリウムのプロジェクタ交換を考えている。
●●	プラネタリウムのプロジェクタの寿命は5年ぐらいと言われる。更新していかないと星が見えなくなる。
事務局	教育委員会の方針として「プラネタリウム存続」の結果が出ているので、更新の予算をつけることができた。一括での購入は難しいので、分割払いとした。

●●	白井駅のポスター(「プラネタリウムで謎解き」)を見て頑張っているなと思った。
●●	今年度、運営協議会、年3回の予定が年2回になってしまった理由は。
事務局	大規模修繕計画の開始時期の延期に伴うものである。来年度は3回予定している。
●●	何か他に意見はあるか。 ではこれで令和6年度の第2回プラネタリウム館運営協議会を終わりとする。